

市民の



感動と育てる種をまこう。
名古屋市文化基金

第九

コンサート 2017

2017

11/26(日) 午後4時開演(開場3時15分)

日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

(名古屋市民会館大ホール) JR・名鉄・地下鉄・市バス 金山駅下車 徒歩約5分

入場料(全席指定): S席 3,500円 A席 3,000円

ベートーヴェン作曲

劇音楽「シュテファン王」序曲 作品117

交響曲「第9番」

二短調 作品125「合唱付」

【演奏】

指揮 / 大井 剛史

管弦楽 / 名古屋フィルハーモニー交響楽団

独唱 / ソプラノ: つじ村 ふみ恵 メゾ・ソプラノ: 三輪 陽子 テノール: 錦織 健 バリトン: 澤脇 達晴

合唱 / 市民の「第九」コンサート2017特別合唱団

主催 / 市民の「第九」コンサート実行委員会(名古屋市・公益財団法人名古屋市文化振興事業団・愛知合唱協会)

後援 / 愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

お問い合わせ / 市民の「第九」コンサート実行委員会事務局 ☎052-203-8044(月・金曜日13:00~16:50)

■チケット取扱い

名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387

愛知芸術文化センタープレイガイド TEL.052-972-0430

他、市内主要プレイガイド

未就学児童のご入場は保護者同伴の場合でもご遠慮下さい。



TEL.0570-02-9999 (Pコード: 339-084)

URL: <http://pia.jp/t>

お近くのチケットぴあスポット、サークルK・サンクス、セブン-イレブンでも直接お買い求めいただけます。

市民の

第九

コンサート2017

Performer Profile



©K.Miura

大井 剛史 (指揮者) Takeshi Ooi

東京芸術大および大学院にて松尾葉子氏に師事、若杉弘、岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメティ、カラブチェフスキーの各氏から指導を受ける。2007～09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2009～16年度ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉（現千葉交響楽団）常任指揮者、2009～12年山形交響楽団指揮者、2013～17年3月同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。この他、国内各地のオーケストラを指揮し、いずれも高い評価を得ている。新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。08年アントニオ・パドロッティ国際指揮者コンクール第2位。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



名古屋フィルハーモニー交響楽団 Nagoya Philharmonic Orchestra

名古屋市を中心に、東海地方を代表するオーケストラとして、広く日本中に話題を発信。「名フィル」の愛称で親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。現在の指揮者陣には、小泉和裕（音楽監督）、小林研一郎（桂冠指揮者）、モーシェ・アツモン（名誉指揮者）、ティエリー・フィッシャー（名誉客演指揮者）、円光寺雅彦（正指揮者）、川瀬賢太郎（指揮者）が名を連ねている。2017年4月には第2代コンポーザー・イン・レジデンスに酒井健治が就任。楽団結成は1966年7月。現在はバラエティに富んだ年間約120回の演奏会を実施。結成から半世紀を超え、次の時代へさらなる飛躍を期している。



つじ村 ふみ恵 (ソプラノ) Fumie Tsujimura

名古屋大学大学院特別音楽研究科修了、イタリア国立ブレッシャ音楽院を満場一致の満点、首席で卒業。日本演奏家連盟主催コンサートにて名古屋フィルハーモニーと共演し、日本では『カルメン』ミカエラ役、イタリアではイタリア国立ブレッシャグランデ劇場『仮面舞踏会』のオスカル役でオペラデビューを果たす。また帰国後の2016年にソロリサイタルを成功させ好評を得る。愛知県尾東音楽コンクール独唱部門大学生の部金賞及び第1位（一般部門と合同審査）。第3回あおい音楽コンクール声楽部門第1位。名古屋二期会会員。



三輪 陽子 (メゾ・ソプラノ) Youko Miwa

愛知県立芸術大学音楽部声楽専攻卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。第5回国際ワーグナー歌唱コンクール派遣対象者国内オーディション最優秀賞と特別賞を受賞。平成20年度新進芸術家海外派遣制度在外研修員としてイタリアとオーストリアに留学。新国立劇場オペラ公演、同劇場オペラに出演。宗教曲のアルトソロ、コンサートではベートーベン「第九交響曲」やマーラー「嘆きの歌」「復活」「大地の歌」「亡き子を偲ぶ歌」などのソリストとして活躍している。クローアチア、ウィーン、ベルリン等の海外公演出演。二期会会員。



©大八木宏武 (都念堂)

錦織 健 (テノール) Ken Nishikiori

国立音楽大学卒業。文化庁オペラ研究所第5期修了。ミラノ及びウィーンに留学。数多くのオペラ公演への出演や第九・宗教曲のソリストとしても高く評価を受けている。2002年より自らオペラ・プロデュースも手がける。2000年、03年のNHK紅白歌合戦への出演や、2012年4月よりNHK-FM「DJクラシック」のパーソナリティを務めるなど、幅広く活動している。



澤脇 達晴 (バリトン) Tatsuhiro Sawaaki

1992年に渡米、「ファルスタッフ」のフォード役、「ロンドンの悪魔」のマヌッリ役、そしてインディアナ大学のゲストリサイタル等に出演。名古屋演奏家ソサエティーでの創作オペラ「弁慶」「鶴」「閻魔街道夢の中」などで好評を得ている。最近では演出家としての活動を広げ「フィガロの結婚」「魔笛」「蝶々夫人」「椿姫」「不思議の国のアリス」などを手がけている。現在、名古屋芸術大学教授、藤原歌劇団団員、名古屋演奏家ソサエティー代表、福山シティオペラ会員、日演連会員、名古屋演奏委員。

市民の「第九」コンサート2017特別合唱団

2003年、讃歌「第九」コンサート(1991～2002)の運営組織・名称を改め、市民の「第九」コンサートとして発足、本年で第15回を迎える。

このコンサートに出演する特別合唱団のメンバー400名は、本年4月発行の名古屋市の広報紙「広報なごや」をはじめ、

新聞、ちらし等による団員募集の応募者で、名古屋市民を中心に近郊都市市民で結成。

年齢も10代～80代と幅広く、また家族での参加もあり、まさに市民の「第九」と言える。

名古屋フィルハーモニー交響楽団と400名の合唱団の協演による壮大な「第九」コンサートは、名古屋音楽界秋の風物詩になっている。

